

はじめにお読みください

タイプME

タイプMB タイプML

タイプMA タイプMR

(Windows® 7 Professional 64ビット版インストールモデル)

(Windows® 7 Professional 32ビット版インストールモデル)

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本マニュアルは、フォルダやファイル、ウィンドウなど、Windowsの基本操作に必要な用語とその意味を理解していること、また、それら进行操作するための基本的な動作がひと通りでき、Windowsもしくは添付のアプリケーションのヘルプを使って操作方法を理解、解決できることを前提に本機固有の情報を中心に書かれています。

本マニュアルでは、特にことわりのない場合、

- Windows® 7 Professional 64ビット 正規版(日本語版)、Windows® 7 Professional 32ビット 正規版(日本語版)を総称して、Windows 7と表記します。
- Windows Vista® Business with Service Pack 2 (SP2)をWindows Vistaと表記します。
- Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版 Service Pack 3をWindows XPと表記します。

なお本マニュアルに記載のイラストはモデルにより多少異なります。

操作の流れ



1	型番を控える	2
	本製品の型番を控えます。	
2	添付品の確認	3
	不足しているものや、破損しているものがないかを最初に確認します。	
3	添付品の接続	5
	使い始めるのに必要な機器を接続します。接続する前には、必ず添付の『安全にお使いいただくために』をお読みください。	
4	Windowsのセットアップ	21
	初めて電源を入れるときには、Windowsをセットアップします。	
5	添付マニュアルの紹介	28
	添付されているマニュアルの使い方について説明しています。	
6	お客様登録	29
	お客様の登録をします。	
7	付録	30

1

型番を控える

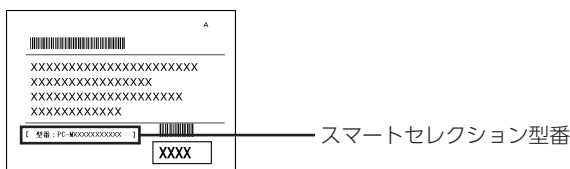
型番を控える

梱包箱のステッカーに記載されているスマートセレクション型番、またはフリーセレクション型番(フレーム型番とコンフィグオプション型番)を控えてください。型番は添付品の確認や、再セットアップをするときに必要になりますので、必ず控えておくようにしてください。

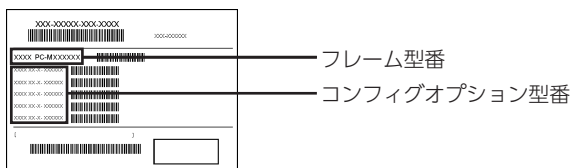
型番を控えておかないと、梱包箱をなくした場合に再セットアップに必要な情報が手元に残りません。

型番を控える

●スマートセレクション型番の場合



●フリーセレクション型番の場合



「1 型番を控える」は以上です。
次の「2 添付品の確認」へ進んでください。

2

添付品の確認

添付品を確認する

梱包箱を開けたら、まず添付品が揃っているかどうか、このチェックリストを見ながら確認してください。万一、添付品が足りない場合や破損していた場合は、すぐにご購入元にご連絡ください。

梱包箱には、このチェックリストに記載されていない注意書きの紙などが入っている場合がありますので本機をご使用いただく前に必ずご一読ください。また紛失しないよう、保管には十分気を付けてください。

1. 箱の中身を確認する

●標準添付品

- 保証書(梱包箱に貼り付けられています)※
- 安全にお使いいただくために
- はじめにお読みください(本マニュアルです)
- 活用ガイド 再セットアップ編
- 保証規定&修理に関するご案内
- ソフトウェアのご使用条件(お客様へのお願い)(箱の中身を確認後必ずお読みください)
- ソフトウェア使用条件適用一覧/添付ソフトウェアサポート窓口一覧(箱の中身を確認後必ずお読みください)
- アプリケーション/マニュアルディスク

- 本体

- キーボード

- マウス

- ケーブルストップ

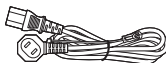
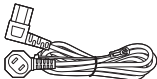


- ネジ(1個)

- サービスコンセント付き電源コード

タイプME

タイプMB、タイプML、タイプMA、タイプMR



- スタビライザ(2個)

タイプME

タイプMB、タイプML、タイプMA、タイプMR



※保証書は、ご購入元で所定事項をご記入の上、お受け取りになり、保管してください。

保証期間中に万一故障した場合は、保証書の記載内容に基づいて修理いたします。

保証期間後の修理については、ご購入元、または当社指定のサービス窓口にご相談ください。

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。

● 選択した構成オプションの添付品

構成オプション	添付品
GeForce® GT 435M	<input type="checkbox"/> デジタルケーブル(デュアルディスプレイ対応)
DVDスーパーマルチドライブ	<input type="checkbox"/> Corel WinDVD / Roxio Creator LJB ディスク
DVD-ROMドライブ	<input type="checkbox"/> Corel WinDVD ディスク
アプリケーション	<input type="checkbox"/> Microsoft® Office Professional 2010 <input type="checkbox"/> Microsoft® Office Home and Business 2010 <input type="checkbox"/> Microsoft® Office Personal 2010 添付品は、アプリケーションに添付のマニュアルをご覧ください。
再セットアップ用媒体	ご購入いただいた再セットアップ用ディスクが添付されています。 <input type="checkbox"/> 再セットアップ用ディスク(64bit) <input type="checkbox"/> 再セットアップ用ディスク(32bit)
SecureRedirector	<input type="checkbox"/> SecureRedirector ディスク <input type="checkbox"/> SecureRedirectorモデルをお使いの方へ
Standby Rescue Multi	<input type="checkbox"/> Standby Rescue Multi v4 ディスク <input type="checkbox"/> Standby Rescue Multi アクティベーションキー案内 (アクティベーションキーの記載があります)
ATOK 2010 for Windows	<input type="checkbox"/> ATOK 2010 for Windows CD-ROM <input type="checkbox"/> J-Sheet ユーザー登録シート
サービス&サポート	<input type="checkbox"/> 標準保証拡張G5、引取標準保証拡張G5 または動産総合保険付標準保証拡張G5

2. ディスプレイがセットになったモデルの場合、ディスプレイの添付品は、ディスプレイの箱の中のマニュアルで確認する

3. 本体にある型番、製造番号と保証書の型番、製造番号が一致していることを確認する

万一違っているときは、すぐにご購入元にご連絡ください。また保証書は大切に保管しておいてください。

なお、フリーセレクション型番の場合は、フレーム型番のみが表示されています。

「[2] 添付品の確認」は以上です。
次の「[3] 添付品の接続」へ進んでください。

3 添付品の接続

設置場所を決める

設置場所については、添付の『安全にお使いいただくために』の「本体使用上の警告・注意」をよくお読みになり、適した場所に設置してください。

接続するときの注意

- 本体、ケーブルのコネクタの端子に触れない
故障の原因になります。
- LANケーブルはWindowsのセットアップ、ファイアウォールの設定を終了させてから接続する
本機を安全にネットワークへ接続させるためです。

タイプME

1. スタビライザの取り付け

本機には、本体を縦置きで使用する場合に、安定して設置するためのスタビライザが添付されています。梱包箱から出したままの状態では、スタビライザは本体に取り付けられていません。縦置きで使用する場合は、転倒防止のため、必ず**A**または**B**のいずれかの方法でスタビライザを取り付けて設置してください。

また、本体を横置きで使用することもできます。この場合、スタビライザをセットする必要はありません。横置きで使用する場合は、p.6「2. キーボード、マウスを接続する」へ進んでください。

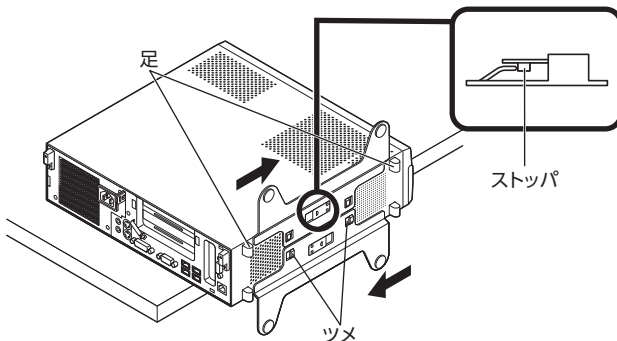
A スタビライザを2つ取り付ける場合

A-1 机の端などに本体を横置きにし、本体を安定させる

この場合、机やテーブルなどを傷付けたりしないように、厚手の紙や布などを敷いておくことをおすすめします。

A-2 スタビライザを本体のツメに合わせ、スタビライザを矢印方向にストッパがロックされるまでスライドさせる

スタビライザを本体に取り付けるときは、指をけがしないよう注意してください。

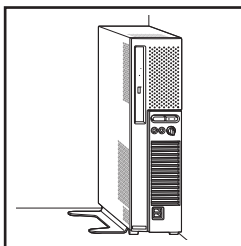


B スタビライザを1つ取り付ける場合

次のように、本体の右側を壁などに付けて縦置きで使用する場合は、左側にスタビライザを1つ取り付けることで設置することができます。

本体正面の左側に通風孔があるため、壁などでふさがないように設置してください。

p.5「A スタビライザを2つ取り付ける場合」と同じ方法で、左側に1つ取り付ける



1つのスタビライザのみをセットする場合は、転倒防止のため、必ず反対側の側面を壁などに付けて使用してください。

2. キーボード、マウスを接続する

USBコネクタ (USB 3.0対応) (ss⇄) にキーボード、マウスを接続しないでください。

お使いのキーボードにより、**A**または**B**のいずれかで接続してください。

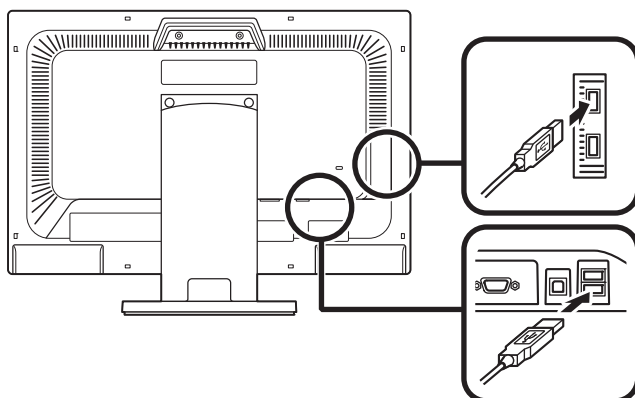
※ 本体背面に接続する場合、ケーブルストップパを利用すると、キーボードの盗難やケーブルの抜け防止に役立ちます。ケーブルストップパの使い方は、『活用ガイド』の「本機の機能」の「タイプME」の「セキュリティ機能」の「ケーブルストップパ」をご覧ください。

A USB 109キーボードを接続する場合

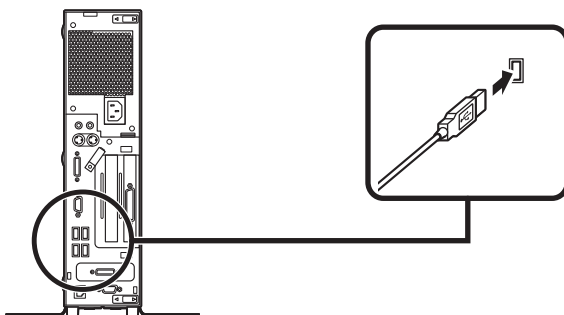
A-1 キーボードとマウスを液晶ディスプレイ、または本体のUSBコネクタ (⇄) に接続する

■液晶ディスプレイに接続する場合

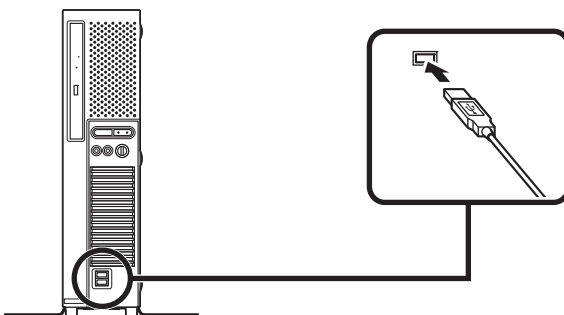
ここではディスプレイ (LCD-EA221WMe-C) がセットになった場合を例に説明します。液晶ディスプレイの側面、または背面にあるUSBコネクタを使用してください。



■ 本体(背面)に接続する場合

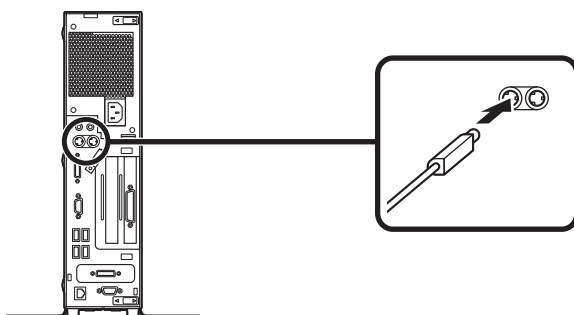


■ 本体(前面)に接続する場合




B PS/2テンキー付き小型キーボード、またはPS/2 109キーボードを接続する場合

B-1 キーボードのコネクタ(紫)を、本体の  のコネクタ(紫)に接続する



B-2 マウスを本体のUSBコネクタ()に接続する

詳しくは、「**A** USB 109キーボードを接続する場合」の「**A-1** キーボードとマウスを液晶ディスプレイ、または本体のUSBコネクタ()に接続する」の「本体(背面)に接続する場合」、「本体(前面)に接続する場合」(上記)をご覧ください。

3. ディスプレイを接続する

ディスプレイは、本体とセットになったモデルと別売のモデルがあり、接続方法が異なる場合があります。ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続してください。

お使いのディスプレイにより、**A**または**B**のいずれかの方法で接続してください。

デュアルディスプレイ機能を使用する場合は、「**A** デジタル液晶ディスプレイを接続する場合」をご覧ください。1台目のディスプレイを接続してください。2台目のディスプレイは必ずWindowsのセットアップを終了させてから、p.10「**◎**液晶ディスプレイを2台接続して使用する(デュアルディスプレイ機能)」をご覧ください。

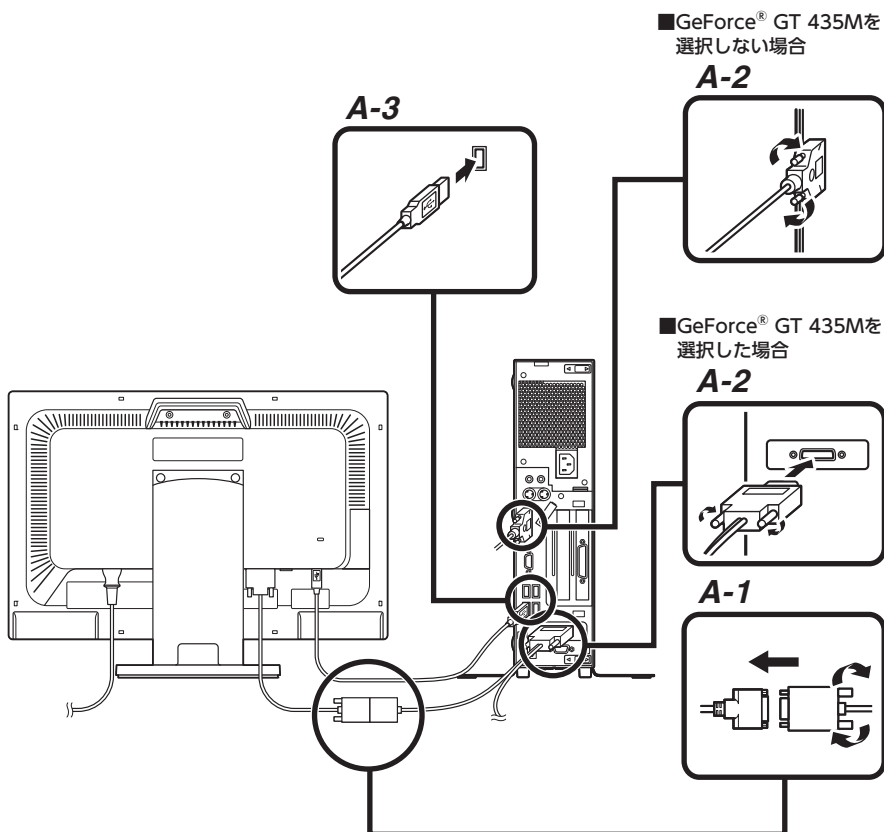
A デジタル液晶ディスプレイを接続する場合

GeForce® GT 435Mを選択した場合、本体背面のDVI-Dコネクタは利用できません。

ここでは、液晶ディスプレイ(LCD-EA221WMe-C)がセットになった場合を例に説明します。

GeForce® GT 435Mを選択した場合は、**A-1** ~ **A-3**の順番に接続してください。

GeForce® GT 435Mを選択しない場合、**A-2**、**A-3**の順番に接続してください。



A-1 ディスプレイの背面につながっているDVIケーブルのコネクタを、添付されているデジタルケーブル(デュアルディスプレイ対応)のコネクタにしっかりネジ止めて接続する

デジタルケーブル(デュアルディスプレイ対応)にある2つのコネクタの、1側から使用してください。

A-2 ■GeForce® GT 435Mを選択した場合

デジタルケーブル(デュアルディスプレイ対応)のもう一方のコネクタを、アイコン(🔌)とコネクタの形状を確認し、本体のGeForce® GT 435Mのコネクタにしっかりネジ止めて接続する

■GeForce® GT 435Mを選択しない場合

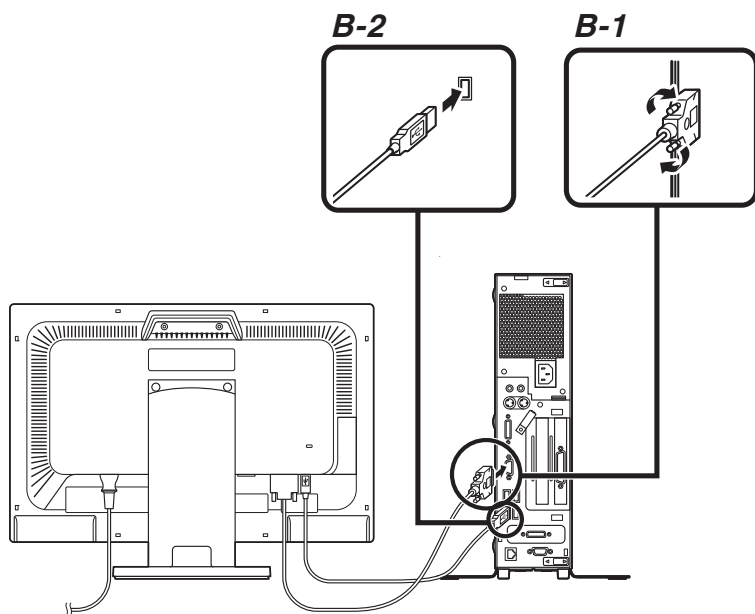
ディスプレイの背面につながっているDVIケーブルのコネクタを、アイコン(🔌)とコネクタの形状を確認し、本体のDVIコネクタにしっかりネジ止めて接続する

A-3 本体とデジタル液晶ディスプレイをUSBケーブル(ディスプレイに付属)で接続する

液晶ディスプレイのUSBケーブルは、本体背面のUSBコネクタ(🔌)に接続することをおすすめします。

B アナログ液晶ディスプレイを接続する場合

ここでは、液晶ディスプレイ(LCD-EA221WMe-C)がセットになった場合を例に説明します。



B-1 ディスプレイの背面につながっているアナログRGBケーブルのコネクタを、アイコン(🔌)とコネクタの形状を確認し、本体のアナログRGBコネクタにしっかりネジ止めて接続する

B-2 本体とアナログ液晶ディスプレイをUSBケーブル(ディスプレイに付属)で接続する
液晶ディスプレイのUSBケーブルは、本体背面のUSBコネクタ(🔌)に接続することをおすすめします。

◎ 液晶ディスプレイを2台接続して使用する(デュアルディスプレイ機能)

2台目のディスプレイは必ずWindowsのセットアップを終了させてから、接続してください。

本機では、液晶ディスプレイを2台接続して使用することができます。

- GeForce® GT 435Mを選択した場合、デジタル液晶ディスプレイを2台接続して使用できます。
- GeForce® GT 435Mを選択しない場合、デジタル液晶ディスプレイとアナログ液晶ディスプレイの2台を接続して使用できます。

■ GeForce® GT 435Mを選択した場合

電源が入っている場合は、電源を切り、p.8の「**A** デジタル液晶ディスプレイを接続する場合」をご覧ください、1台目のディスプレイと同様の手順で、2台目のディスプレイを接続してください。

■ GeForce® GT 435Mを選択しない場合

1台目のディスプレイによって、手順が異なります。次をご覧ください。2台目のディスプレイを接続してください。

• 1台目のディスプレイがデジタル液晶ディスプレイの場合

電源が入っている場合は、電源を切り、p.9の「**B** アナログ液晶ディスプレイを接続する場合」をご覧ください、2台目のディスプレイを接続してください。

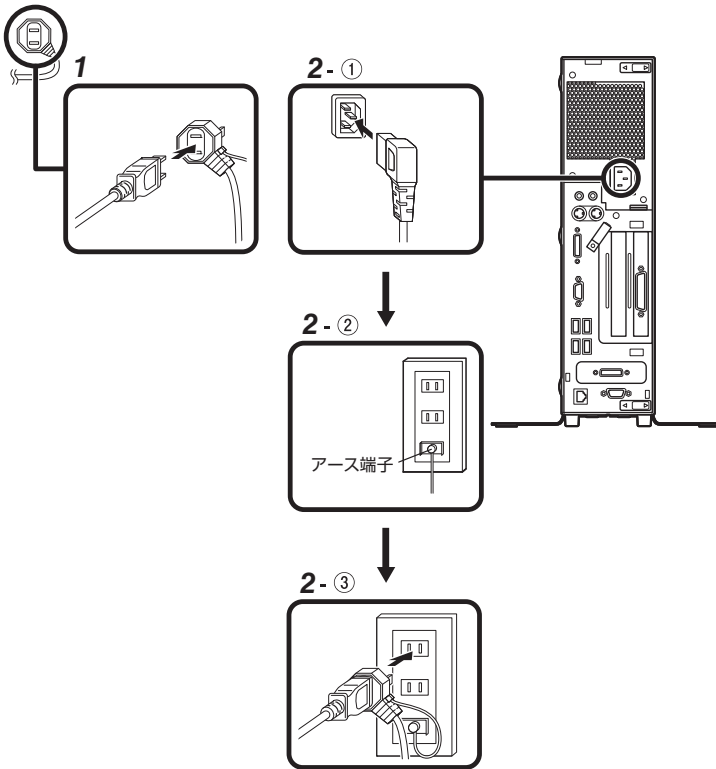
• 1台目のディスプレイがアナログ液晶ディスプレイの場合

電源が入っている場合は、電源を切り、p.8の「**A** デジタル液晶ディスプレイを接続する場合」をご覧ください、2台目のディスプレイを接続してください。

デュアルディスプレイ機能の設定については、『活用ガイド』の「本機の機能」の「タイプME」の「ディスプレイ」の「デュアルディスプレイ機能を使う」をご覧ください。

4. アース線、電源コードを接続する

次のイラストを見てアース線、電源コードを接続してください。



1 ディスプレイの電源コードのプラグをサービスコンセント付き電源コードに差し込む
ディスプレイによって接続方法が異なる場合があります。ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続してください。

2 本体の電源コードを接続する

- ① 本体にサービスコンセント付き電源コードを接続する
- ② ACコンセントのアース端子にアース線を接続する

アース端子部分にはキャップが付いています。接続するときに取り外してください。

- ③ サービスコンセント付き電源コードのもう一方のプラグをACコンセントに差し込む

・ 一度電源が入り、数秒で電源が切れる場合がありますが、故障ではありません。
・ 電源コードを外す際、アース線を接続している場合は、必ずプラグを外してからアース線を外してください。

「[3](#) 添付品の接続」は以上です。
p.21「[4](#) Windowsのセットアップ」へ進んでください。

タイプMB、タイプML、タイプMA、タイプMR

1. スタビライザの取り付け

本機には、本体を縦置きで使用する場合に、安定して設置するためのスタビライザが添付されています。梱包箱から出したままの状態では、スタビライザは本体に取り付けられていません。縦置きで使用する場合は、転倒防止のため、必ず**A**または**B**のいずれかの方法でスタビライザを取り付けて設置してください。

また、本体を横置きで使用することもできます。この場合、スタビライザをセットする必要はありません。

横置きで使用する場合は、p.13「2.キーボード、マウスを接続する」へ進んでください。

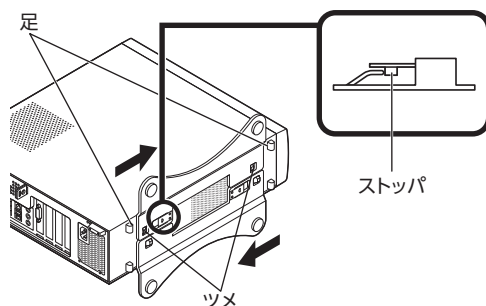
A スタビライザを2つ取り付ける場合

A-1 机の端などに本体を横置きにし、本体を安定させる

この場合、机やテーブルなどを傷付けたりしないように、厚手の紙や布などを敷いておくことをおすすめします。

A-2 スタビライザを本体のツメに合わせ、スタビライザを矢印方向にストッパがロックされるまでスライドさせる

スタビライザを本体に取り付けるときは、指をけがしないよう注意してください。



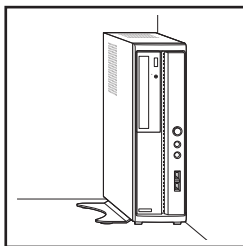
イラストは、タイプMBです。

B スタビライザを1つ取り付ける場合

次のように、本体の右側を壁などに付けて縦置きで使用する場合は、左側にスタビライザを1つ取り付けることで設置することができます。

本体の左側に通風孔があるため、壁などでふさがないように設置してください。

p.12 「A スタビライザを2つ取り付ける場合」と同じ方法で、左側に1つ取り付ける



イラストは、タイプMBです。

1つのスタビライザのみをセットする場合は、転倒防止のため、必ず反対側の側面を壁などに付けて使用してください。

2. キーボード、マウスを接続する

お使いのキーボードにより、**A**または**B**のいずれかで接続してください。

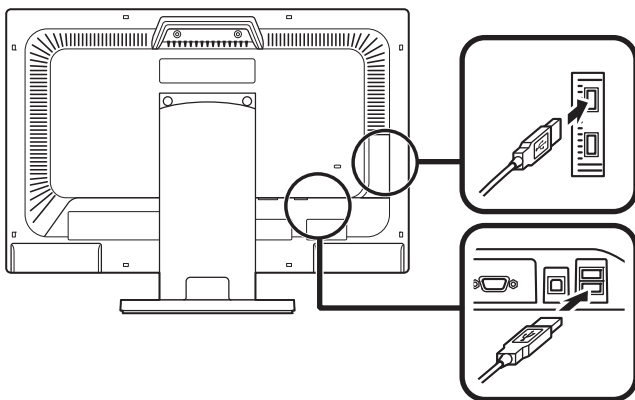
※本体背面に接続する場合、ケーブルストッパを利用すると、キーボードの盗難やケーブルの抜け防止に役立ちます。ケーブルストッパの使い方は、『活用ガイド』の「本機の機能」のお使いの機種種の「セキュリティ機能」の「ケーブルストッパ」をご覧ください。

A USB 109キーボードを接続する場合

A-1 キーボードとマウスを液晶ディスプレイ、または本体のUSBコネクタ(🔌)に接続する

■液晶ディスプレイに接続する場合

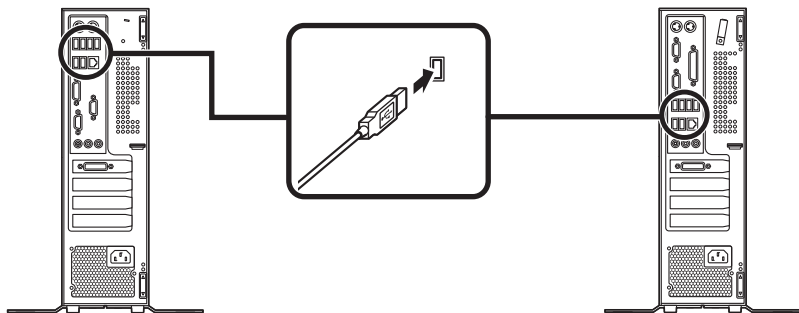
ここではディスプレイ(LCD-EA221 WMe-C)がセットになった場合を例に説明します。液晶ディスプレイの側面、または背面にあるUSBコネクタを使用してください。



■本体に接続する場合

タイプMB、タイプML

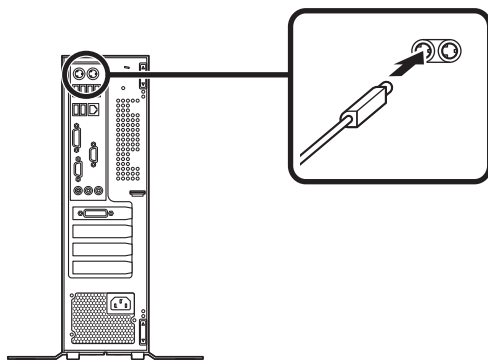
タイプMA、タイプMR



イラストはタイプMAです。

B PS/2テンキー付き小型キーボード、またはPS/2 109キーボードを接続する場合

B-1 キーボードのコネクタ(紫)を、本体の()のコネクタ(紫)に接続する



イラストはタイプMBです。

B-2 マウスを本体のUSBコネクタ()に接続する

詳しくは、「A USB 109キーボードを接続する場合」の「A-1 キーボードとマウスを液晶ディスプレイ、または本体のUSBコネクタ()に接続する」の「本体に接続する場合」(上記)をご覧ください。

3. ディスプレイを接続する

ディスプレイは、本体とセットになったモデルと別売のモデルがあり、接続方法が異なる場合があります。ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続してください。

タイプMB、タイプMLの場合

お使いのディスプレイにより、**A**または**B**のいずれかの方法で接続してください。

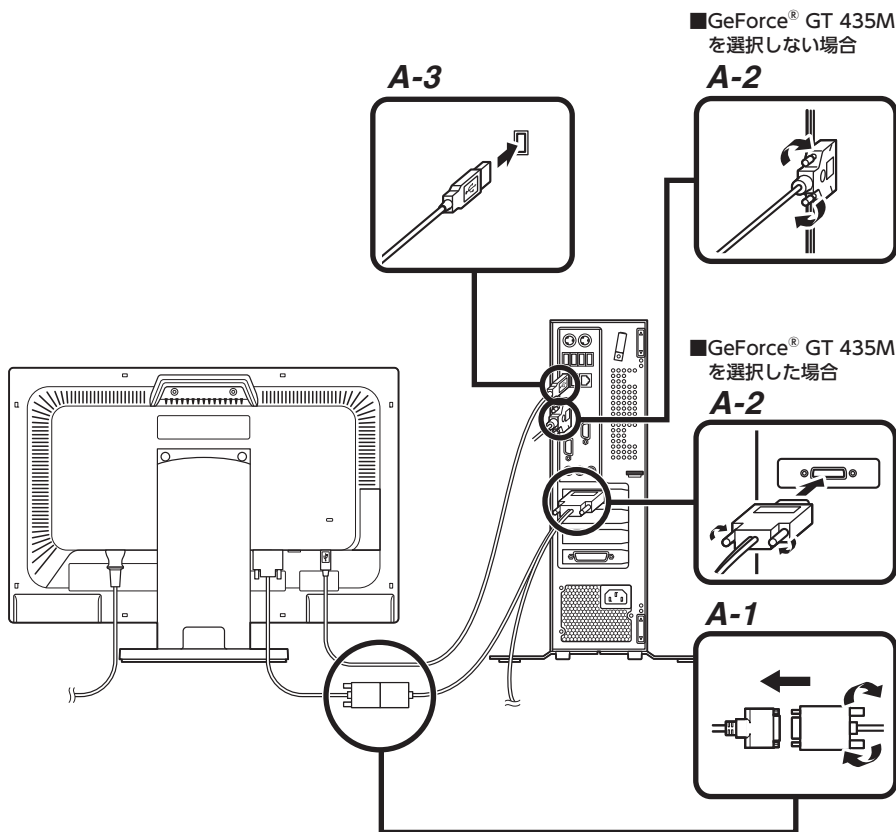
タイプMBではデュアルディスプレイ機能を使用できます。デュアルディスプレイ機能を使用する場合は、次の「A デジタル液晶ディスプレイを接続する場合」をご覧ください。1台目のディスプレイを接続してください。2台目のディスプレイは必ずWindowsのセットアップを終了させてからp.19 「液晶ディスプレイを2台接続して使用する(デュアルディスプレイ機能)(タイプMB、タイプMA)」をご覧ください。接続してください。

A デジタル液晶ディスプレイを接続する場合

GeForce® GT 435Mを選択した場合、本体背面のDVI-Dコネクタは利用できません。

ここでは、液晶ディスプレイ(LCD-EA221WMe-C)がセットになった場合を例に説明します。GeForce® GT 435Mを選択した場合は、**A-1** ~ **A-3**の順番に接続してください。

GeForce® GT 435Mを選択しない場合、またはタイプMLの場合、**A-2**、**A-3**の順番に接続してください。



A-1 ディスプレイの背面につながっているDVIケーブルのコネクタを、添付されているデジタルケーブル(デュアルディスプレイ対応)のコネクタにしっかりネジ止めて接続する

デジタルケーブル(デュアルディスプレイ対応)にある2つのコネクタの、1側から使用してください。

A-2 ■GeForce® GT 435Mを選択した場合

デジタルケーブル(デュアルディスプレイ対応)のもう一方のコネクタを、アイコン(□)とコネクタの形状を確認し、本体のGeForce® GT 435Mのコネクタにしっかりネジ止めて接続する

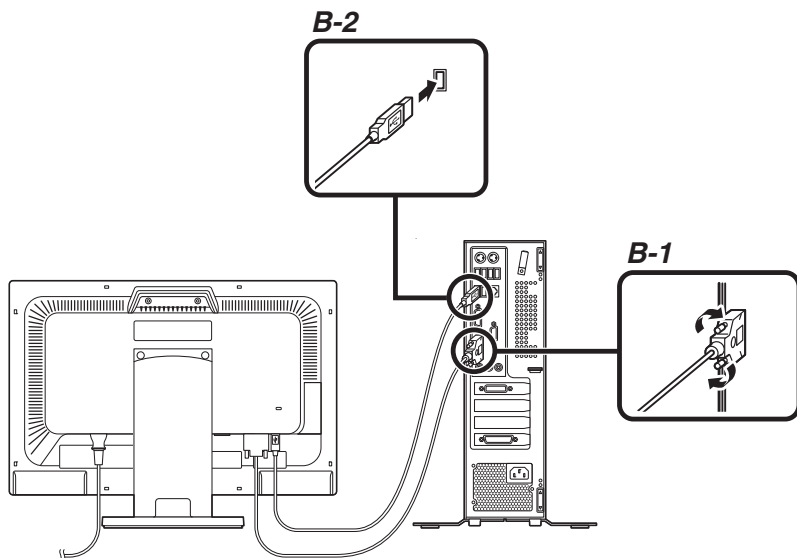
■GeForce® GT 435Mを選択しない場合、またはタイプMLの場合

ディスプレイの背面につながっているDVIケーブルのコネクタを、アイコン(📐)とコネクタの形状を確認し、本体のDVI-Dコネクタにしっかりネジ止めして接続する

A-3 本体とデジタル液晶ディスプレイをUSBケーブル(ディスプレイに付属)で接続する
液晶ディスプレイのUSBケーブルは、本体背面のUSBコネクタ(🔌)に接続することをおすすめします。

B アナログ液晶ディスプレイを接続する場合

ここでは、液晶ディスプレイ(LCD-EA221WMe-C)がセットになった場合を例に説明します。



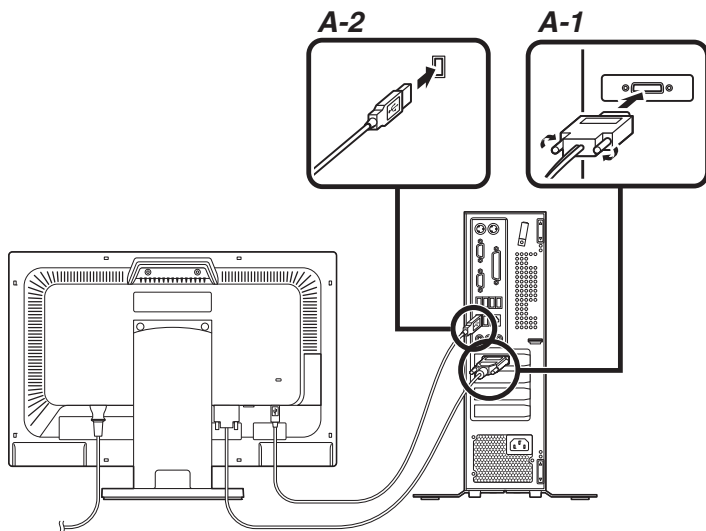
B-1 ディスプレイの背面につながっているアナログRGBケーブルのコネクタを、アイコン(📐)とコネクタの形状を確認し、本体のアナログRGBコネクタにしっかりネジ止めして接続する


B-2 本体とアナログ液晶ディスプレイをUSBケーブル(ディスプレイに付属)で接続する
液晶ディスプレイのUSBケーブルは、本体背面のUSBコネクタ(🔌)に接続することをおすすめします。


タイプMAでは、デュアルディスプレイ機能を使用できます。デュアルディスプレイ機能を使用する場合は、「A デジタル液晶ディスプレイを接続する場合」、または、p.18「B アナログ液晶ディスプレイを接続する場合」をご覧になり、1台目のディスプレイを接続してください。2台目のディスプレイは必ずWindowsのセットアップを終了させてから、p.19「C液晶ディスプレイを2台接続して使用する(デュアルディスプレイ機能)(タイプMB、タイプMA)」をご覧になり、接続してください。

A デジタル液晶ディスプレイを接続する場合

ここでは、液晶ディスプレイ(LCD-EA221WMe-C)がセットになった場合を例に説明します。

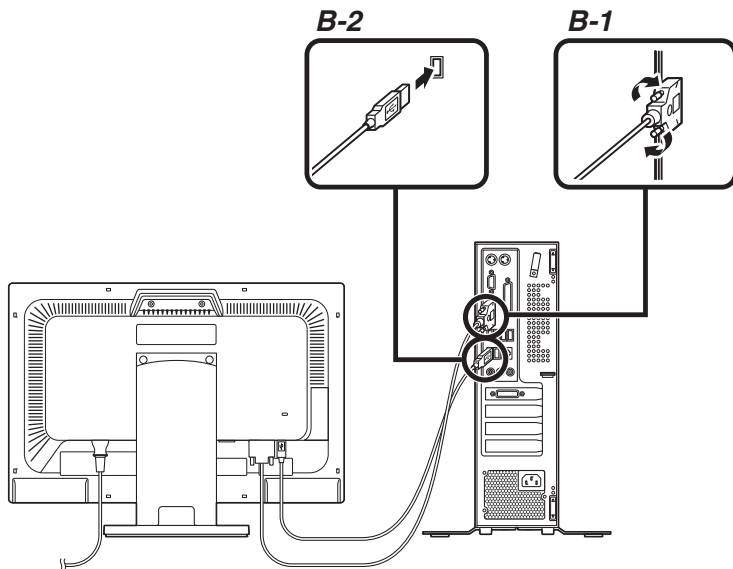


A-1 ディスプレイの背面につながっているDVIケーブルのコネクタを、アイコン()とコネクタの形状を確認し、本機のDVI-Dコネクタにしっかりネジ止めて接続する

A-2 本体とデジタル液晶ディスプレイをUSBケーブル(ディスプレイに付属)で接続する
液晶ディスプレイのUSBケーブルは、本体背面のUSBコネクタ()に接続することをおすすめします。

B アナログ液晶ディスプレイを接続する場合

ここでは、液晶ディスプレイ(LCD-EA221WMe-C)がセットになった場合を例に説明します。



B-1 ディスプレイの背面につながっているアナログRGBケーブルのコネクタを、アイコン(☐)とコネクタの形状を確認し、本体のアナログRGBコネクタにしっかりネジ止めして接続する

B-2 本体とアナログ液晶ディスプレイをUSBケーブル(ディスプレイに付属)で接続する
液晶ディスプレイのUSBケーブルは、本体背面のUSBコネクタ(☐)に接続することをおすすめします。

◎液晶ディスプレイを2台接続して使用する(デュアルディスプレイ機能) (タイプMB、タイプMA)

2台目のディスプレイは必ずWindowsのセットアップを終了させてから、接続してください。

タイプMBの場合

タイプMBでは、液晶ディスプレイを2台接続して使用することができます。

- GeForce® GT 435Mを選択した場合、デジタル液晶ディスプレイを2台接続して使用できます。
- GeForce® GT 435Mを選択しない場合、デジタル液晶ディスプレイとアナログ液晶ディスプレイの2台を接続して使用できます。

■ GeForce® GT 435Mを選択した場合

電源が入っている場合は、電源を切り、p.15の「**A** デジタル液晶ディスプレイを接続する場合」をご覧になり、1台目のディスプレイと同様の手順で、2台目のディスプレイを接続してください。

■ GeForce® GT 435Mを選択しない場合

1台目のディスプレイによって、手順が異なります。次をご覧になって、2台目のディスプレイを接続してください。

• 1台目のディスプレイがデジタル液晶ディスプレイの場合

電源が入っている場合は、電源を切り、p.16の「**B** アナログ液晶ディスプレイを接続する場合」をご覧になって、2台目のディスプレイを接続してください。

• 1台目のディスプレイがアナログ液晶ディスプレイの場合

電源が入っている場合は、電源を切り、p.15の「**A** デジタル液晶ディスプレイを接続する場合」をご覧になって、2台目のディスプレイを接続してください。

デュアルディスプレイ機能の設定については、『活用ガイド』の「本機の機能」の「タイプMB」の「ディスプレイ」の「デュアルディスプレイ機能を使う」をご覧ください。

タイプMAの場合

タイプMAは、デジタル液晶ディスプレイと、アナログ液晶ディスプレイの2台を接続して使用することができます。1台目のディスプレイによって、手順が異なります。次をご覧になって、2台目のディスプレイを接続してください。

• 1台目のディスプレイがデジタル液晶ディスプレイの場合

電源が入っている場合は、電源を切り、p.18の「**B** アナログ液晶ディスプレイを接続する場合」をご覧になって、2台目のディスプレイを接続してください。

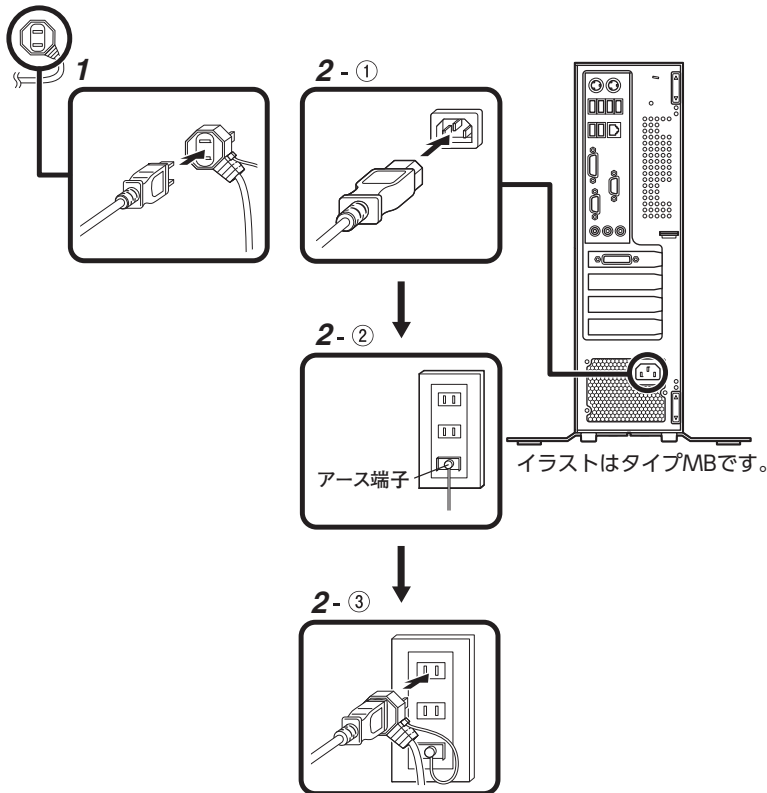
• 1台目のディスプレイがアナログ液晶ディスプレイの場合

電源が入っている場合は、電源を切り、p.17の「**A** デジタル液晶ディスプレイを接続する場合」をご覧になって、2台目のディスプレイを接続してください。

デュアルディスプレイ機能の設定については、『活用ガイド』の「本機の機能」の「タイプMA」の「ディスプレイ」の「デュアルディスプレイ機能を使う」をご覧ください。

4. アース線、電源コードを接続する

次のイラストを見てアース線、電源コードを接続してください。



1 ディスプレイの電源コードのプラグをサービスコンセント付き電源コードに差し込む
ディスプレイによって接続方法が異なる場合があります。ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続してください。

2 本体の電源コードを接続する

- ① 本体にサービスコンセント付き電源コードを接続する
- ② ACコンセントのアース端子にアース線を接続する

アース端子部分にはキャップが付いています。接続するときに取り外してください。

- ③ サービスコンセント付き電源コードのもう一方のプラグをACコンセントに差し込む

- ・ 一度電源が入り、数秒で電源が切れる場合がありますが、故障ではありません。
- ・ 電源コードを外す際、アース線を接続している場合は、必ずプラグを外してからアース線を外してください。

「[3] 添付品の接続」は以上です。

次の「[4] Windowsのセットアップ」へ進んでください。

4 Windowsのセットアップ

初めて本機の電源を入れるときは、Windowsのセットアップの作業が必要です。

Windowsのセットアップの途中では絶対に電源を切らないでください。作業の途中で電源スイッチを操作したり電源コードを引き抜いたりすると、故障の原因になります。障害が発生した場合や誤って電源スイッチを押してしまった場合は、p.26「セットアップ中にトラブルが発生した場合」をご覧ください。

セットアップをするときの注意

- **マニュアルに記載されている手順通りを行う**
Windowsをセットアップするときは、必ず本マニュアルに記載されている手順を守ってください。手順を省略したり、画面で指示された以外のキーを押したり、スイッチを操作すると、正しくセットアップできないことがあります。
- **周辺機器は接続しない**
この作業が終わるまでは、「[3] 添付品の接続」で接続した機器以外の周辺機器(プリンタや増設メモリなど)の取り付けを絶対に行わないでください。これらの周辺機器を本機と一緒にご購入された場合は、先に「[4] Windowsのセットアップ」の作業を行った後、周辺機器に添付のマニュアルを読んで接続や取り付けを行ってください。
- **LANケーブルは接続しない**
LANケーブルは、本機を安全にネットワークへ接続させるため、Windowsのセットアップ、ファイアウォールの設定を終了させてからLANケーブルを接続してください。
- **途中で電源を切らない**
途中で画面が止まるように見えることがあっても、セットアッププログラムは動作していることがあります。慌てずに手順通り操作してください。
- **セットアップ中は放置しない**
Windowsのセットアップが終了し、いったん電源を切るまでセットアップ中でキー操作が必要な画面を含み、本機を長時間放置しないでください。

セットアップを始める前の準備

Windowsのセットアップ中に本機を使う人の名前(ユーザー名)、コンピュータ名を入力する必要があります。登録する名前を決めておいてください。

ユーザー名、コンピュータ名に日本語を含む2バイト文字や環境依存文字、記号を使用するとWindowsのセットアップが完了しない場合やアプリケーションが正しく動作しない場合があります。そのため、ユーザー名、コンピュータ名には必ず半角英数字のみを使用し、記号、スペースは使用しないでください。また、20文字を超える長さにはできません。

電源を入れる

1 ディ스플레이の電源を入れる

ディスプレイの電源スイッチの位置は、ディスプレイに添付のマニュアルを参照してください。

✓チェック!

液晶ディスプレイは、非常に高精度な技術で作られていますが、画面の一部にドット抜け※(ごくわずかな黒い点や、常時点灯する赤、青、緑の点)が見えることがあります。また、見る角度によっては、色むらや明るさのむらが見えることがあります。これらは、液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

※: 社団法人 電子情報技術産業協会 (JEITA) のガイドラインに従い、ドット抜けの割合を Web 専用コンテンツの「仕様一覧」に記載しています。下記の URL よりお使いの機種種の「仕様一覧」をご覧ください。

<http://121ware.com/e-manual/m/nx/ac/201105/bios/v1/mst/index.html>
ガイドラインの詳細については、下記の URL よりご覧ください。

「パソコン用液晶ディスプレイのドット抜けに関する定量的表記ガイドライン」

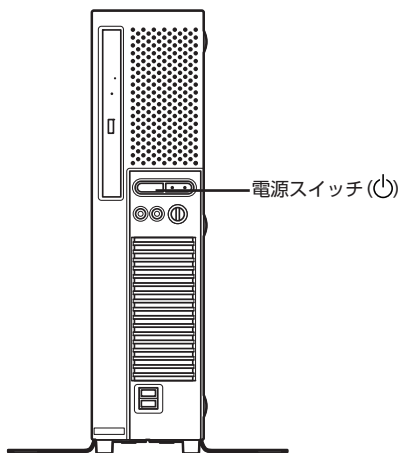
<http://it.jeita.or.jp/perinfo/committee/pc/0503dot/index.html>

2 本体の電源スイッチ (⏻) を押す

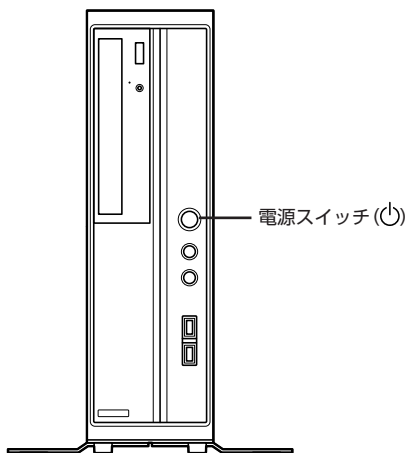
✓チェック!

タイプMEの場合、工場出荷時の状態では音量が最小になっていますので、音量調節つまみで音量を調整してください。

タイプME



タイプMB、タイプML、タイプMA、タイプMR



イラストは、タイプMBです。

■ セットアップの作業手順

以降は、ご利用のオペレーティングシステムに従って、次の「1. Windows 7のセットアップ」、p.24「2. Windows Vistaのセットアップ」またはp.25「3. Windows XPのセットアップ」に進んでください。

セットアップ中にトラブルが発生した場合、p.26をご覧ください。

1. Windows 7のセットアップ

Windows 7のセットアップを開始します。

- ユーザー名とコンピューター名を入力する画面が表示されるまで時間がかかります。しばらくお待ちください。
- お使いのディスプレイによっては、セットアップ中に画面が一部黒く表示される箇所がありますが、動作上問題ありません。
- 手順1、2、5の設定内容についてはシステム管理者にお問い合わせください。

- 1 ユーザー名とコンピューター名を入力する画面が表示されたら、ユーザー名、コンピューター名を入力し、「次へ」ボタンをクリック

ユーザー名とコンピューター名を入力しないと、次の操作に進むことはできません。

- 2 ユーザーアカウントのパスワードを設定する画面が表示されたら、パスワードを入力し、「次へ」ボタンをクリック
- 3 「ライセンス条項をお読みになってください」と表示されたら、内容を確認する
- 4 内容を確認後、「ライセンス条項に同意します」をチェックし、「次へ」ボタンをクリック

同意しない場合セットアップは続行できません。

- 5 「コンピューターの保護とWindowsの機能の向上が自動的に行われるように設定してください」と表示されたら、「推奨設定を使用します」、「重要な更新プログラムのみインストールします」、または「後で確認します」のいずれかを選択する
途中で何度か画面が変わり、デスクトップ画面が表示されるまでしばらくかかります。
- 6 「電源を切ってください」ダイアログボックスが表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 7 「スタート」ボタンをクリック
- 8 「シャットダウン」ボタンをクリック
電源が切れます。

Windowsセットアップ完了後、15分程アイドル状態が続いたときにWindows エクスperiencesインデックスが実行されます。
実行中は、電源プランが「高パフォーマンス」に変更され、その際にディスプレイの電源が切れる場合があります。

- 9 ディスプレイの電源を切る

「1. Windows 7のセットアップ」は以上です。
p.27「セットアップ後の操作、設定」へ進んでください。

2. Windows Vistaのセットアップ

Windows Vistaのセットアップを開始します。



- 「ライセンス条項をお読みになってください」と表示されるまで時間がかかります。しばらくお待ちください。
- お使いのディスプレイによっては、セットアップ中に画面が一部黒く表示される箇所がありますが、動作上問題ありません。
- 手順3～5の設定内容についてはシステム管理者にお問い合わせください。

- 1 「ライセンス条項をお読みになってください」と表示されたら、内容を確認する
- 2 内容を確認後、「ライセンス条項に同意します」をチェックし、「次へ」ボタンをクリック

同意しない場合セットアップは続行できません。

- 3 「ユーザー名と画像の選択」と表示されたら、ユーザー名、パスワードを入力し、さらにユーザーアカウントで使用する画像を選択し、「次へ」ボタンをクリック

ユーザー名を入力しないと、次の操作に進むことはできません。

- 4 「コンピュータ名を入力して、デスクトップの背景を選択してください。」と表示されたら、コンピュータ名を入力し、デスクトップの背景を選択して、「次へ」ボタンをクリック
- 5 「Windowsを自動的に保護するよう設定してください」と表示されたら、「推奨設定を使用します」、「重要な更新プログラムのみインストールします」、または「後で確認します」のいずれかを選択する
- 6 「ありがとうございます」と表示されたら、「開始」ボタンをクリック
途中で何度か画面が変わり、デスクトップ画面が表示されるまでしばらくかかります。
- 7 3でパスワードを設定した場合は、パスワードを入力する
- 8 「電源を切ってください」ダイアログボックスが表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 9 「スタート」ボタンをクリック
- 10 （「ロック」ボタン）の横にある  をクリックし、表示されたメニューから「シャットダウン」をクリック
電源が切れます。
- 11 ディスプレイの電源を切る

「2. Windows Vistaのセットアップ」は以上です。
p.27「セットアップ後の操作、設定」へ進んでください。

3. Windows XPのセットアップ

Windows XPのセットアップを開始します。

- 「Microsoft Windows へようこそ」画面が表示されるまで時間がかかります。しばらくお待ちください。
- お使いのディスプレイによっては、セットアップ中に画面が一部黒く表示される箇所がありますが、動作上問題ありません。
- 手順4、6～10の設定内容についてはシステム管理者にお問い合わせください。

1 「Microsoft Windows へようこそ」画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

2 「使用許諾契約」画面を確認する

3 内容を確認後、「同意します」をクリックし、「次へ」ボタンをクリック

同意しない場合セットアップは続行できません。

4 「コンピュータを保護してください」画面が表示されたら、「自動更新を有効にし、コンピュータの保護に役立てます」、または「後で設定します」のいずれかを選択し、「次へ」ボタンをクリック

5 「コンピュータに名前を付けてください」画面が表示されたら、名前を入力し、「次へ」ボタンをクリック

6 「管理者パスワードを設定してください」画面が表示されたら、管理者パスワードを入力し、「次へ」ボタンをクリック

7 「このコンピュータをドメインに参加させますか？」画面が表示された場合は、「いいえ、このコンピュータをドメインのメンバにしません」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

8 「インターネット接続を確認しています」画面が表示された場合は、「省略」ボタンをクリック

9 「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？」画面が表示された場合は、「いいえ、今回はユーザー登録しません」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

10 「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」画面が表示されたら、ユーザー名を入力し、「次へ」ボタンをクリック

ユーザー名を入力しないと、次の操作に進むことはできません。なお、ここで入力した「ユーザー1」の内容が、「システムのプロパティ」の「使用者」として登録されます。「使用者」はセットアップが完了した後は変更できません。変更するには再セットアップが必要です。

11 「設定が完了しました」画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリック

途中で何度か画面が変わり、デスクトップ画面が表示されるまでしばらくかかります。

12 「電源を切ってください」ダイアログボックスが表示されたら、「OK」ボタンをクリック

13 「スタート」ボタンをクリックし、「終了オプション」をクリック

14 「電源を切る」ボタンをクリック

電源が切れます。

15 ディスプレイの電源を切る

「3. Windows XPのセットアップ」は以上です。

p.27「セットアップ後の操作、設定」へ進んでください。

セットアップ中にトラブルが発生した場合

電源スイッチを押しても電源が入らない

電源コードの接続が不完全であることが考えられるので、一度電源コードのプラグをACコンセントから抜き、本体と電源コードがしっかり接続されていることを確認してから、もう一度電源コードのプラグをACコンセントに差し込む

電源コードを接続し直しても電源が入らない場合は、本体の故障が考えられますので、ご購入元にご相談ください。

セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった

セットアップの途中で誤って電源を切ってしまうと、セットアップが正しく完了せず、Windowsのシステムファイルやレジストリ情報が破損する可能性があります

再度電源を入れて、エラーメッセージ(「Windowsエラー回復処理」画面など)が表示されず、正常にセットアップが完了したように見えた場合でも、Windowsを再セットアップするか、ご購入元にご相談ください。

再セットアップについては、『活用ガイド 再セットアップ編』をご覧ください。

セットアップの途中でパソコンが反応しない、またはエラーメッセージが表示された

パソコンが反応しなかったり、エラーメッセージが表示された場合は、メッセージを書き留めた後、本機の電源スイッチを4秒以上押し、強制的に終了する

いったん電源を切った後で電源を入れ直す場合は、電源を切ってから5秒以上間隔をあけて電源を入れてください。また、電源コードを抜いたり、ブレーカーなどが落ちて電源が切れた場合は、電源コードを抜いた状態で90秒以上間隔をあけてから、再度電源コードを接続し、電源を入れてください。その後、上記の「セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった」をご覧ください。

セットアップ中に誤って電源を切ってしまった、または強制終了した後のセットアップの動作が遅い(RAIDモデルの場合)

正常終了するまで待つ

タイプMEのRAIDモデルでは、セットアップ中に誤って電源を切ってしまった場合、または強制終了をした場合、次回セットアップ時にRAIDボリュームの「初期化」、あるいは「検証して修復」が行われる場合があります。そのため、セットアップの処理が通常の動作よりも遅くなりますが、これは、ハードディスクのデータを安全に保護する動作を行っているためです。

正常終了するまで電源を切らないでください。

セットアップ後の操作、設定

セットアップ後の操作、設定については、p.28「[⑤添付マニュアルの紹介](#)」で該当するマニュアルをご覧ください。

複数のパーティションをご利用になる場合(Windows 7)

工場出荷時において1台目の内蔵ハードディスク(またはSSD)でお客様が利用可能な領域はCドライブのみの1パーティション(ボリューム)です。
Cドライブを分割して、複数のパーティションを利用することもできます。
詳しくは、『活用ガイド』の「[トラブル解決Q&A](#)」の「[ハードディスク](#)」、または「[SSD](#)」をご覧ください。

「再セットアップ用ディスク」の作成について(Windows 7)

ハードディスク(またはSSD)内に再セットアップ用データを格納しています。
ご購入いただいたモデルがDVD-Rに書き込み可能なドライブを搭載したモデルの場合は、「再セットアップ用ディスク」を作成することができます。
ハードディスク(またはSSD)が故障した場合などに備え、「再セットアップ用ディスク」を作成しておくことをおすすめします。

「再セットアップ用ディスク」の作成機能については、出荷時の製品構成でのみサポートしており、アプリケーションのインストール、Service Packの変更、およびRoxio Creator LJBのアップデートをする前に行ってください。

「再セットアップ用ディスク」についての詳細は『活用ガイド 再セットアップ編』をご覧ください。

「システム修復ディスク」/「Windows Vista セットアップディスク」の作成について

ファイルの破損などにより、セーフモードや前回正常起動時の構成を使用してもWindowsが正常に起動しないときに備え、あらかじめ「システム修復ディスク」、または「Windows Vista セットアップディスク」を作成することをおすすめします。
Windows 7の「システム修復ディスク」の作成/使用方法は、Windowsのヘルプをご覧ください。「Windows Vista セットアップディスク」の作成/使用方法は、『活用ガイド 再セットアップ編』(Windows Vista Businessインストールサービス)をご覧ください。

Windows® Update、またはMicrosoft® Updateについて

Windows® Update、またはMicrosoft® Updateでは最新かつ重要なセキュリティの更新情報が提供されています。Windowsを最新の状態に保つために、Windows® Update、またはMicrosoft® Updateを定期的に実施してください。

本機には修正プログラムが適用されています。修正プログラムをアンインストールすると、修正されていた問題が発生する可能性がありますのでアンインストールを行わないでください。

Service Packについて

- Windows Vistaには「Windows Vista® Service Pack 2(SP2)」(以下、Windows Vista SP2)がインストールされています。
本機では、Windows Vista SP2をアンインストールすることはできません。
- Windows XPには「Windows® XP Professional Service Pack 3(SP3)」(以下、Windows XP SP3)がインストールされています。
本機では、Windows XP SP3をアンインストールすることはできません。

5

添付マニュアルの紹介

本機に添付されているマニュアルを紹介します。

マニュアル類を別途お求めの場合は『活用ガイド』の「トラブル解決Q&A」の「その他」をご覧ください。

添付マニュアルについて

●『安全にお使いいただくために』

本機を安全にお使いいただくための情報を記載しています。使用する前に必ずお読みください。

●『はじめにお読みください』

本マニュアルです。

●『活用ガイド 再セットアップ編』

ご購入いただいたOSのマニュアルが添付されており、再セットアップ方法を記載しています。

Windows 7用(853-810602-399-A)

本機のシステムを再セットアップするときにお読みください。

●『活用ガイド』

本体の各部の名称と機能、内蔵機器の増設方法、システム設定(BIOS設定)について確認したいとき、アプリケーションのインストール/アンインストール、ハードディスク(またはSSD)のメンテナンスをするとき、他のOSをセットアップする(利用できるOSはモデルによって異なります)とき、またはトラブルが起きたときにお読みください。

メ **モ** 『活用ガイド』は、「アプリケーション/マニュアルディスク」に入っています。また、一部コンテンツはWebを参照するため、インターネットへの接続が必要となります。

●ディスプレイのユーザーズマニュアル

液晶ディスプレイがセットになったモデルの場合はディスプレイに添付されています。ディスプレイを利用するときに、必ずお読みください。

●アプリケーションのマニュアル

Office Professional 2010、Office Home & Business 2010、またはOffice Personal 2010を選択した場合、マニュアルが添付されています。アプリケーションを利用するときにお読みください。

●『保証規定&修理に関するご案内』

パソコンに関する相談窓口、保証期間と保証規定の詳細内容およびQ&A、有償保守サービス、お客様登録方法、NECの「ビジネスPC」サイトについて知りたいときにお読みください。

メ **モ** NECの「ビジネスPC」サイトでは、マニュアルがご覧いただけます。最新のマニュアルが掲載されている場合があるので、ご確認のうえご覧ください。

<http://www.nec.co.jp/bpc/>

「ビジネスPC ユーザサポート」の「サポート情報(ダウンロード)」→「ダウンロード」の「製品マニュアル」の「電子マニュアルビューア」から電子マニュアルビューアをご覧ください。

また、NEC PCマニュアルセンターでは、マニュアルの販売を行っています。

<http://pcm.nec-dp.co.jp/>

『活用ガイド』の使用方法

『活用ガイド』を使用するには、ご利用のOSの「アプリケーション/マニュアルディスク」をご用意いただき、次の手順で起動してご覧ください。ご利用の環境により手順が異なります。

- 1 DVDスーパーマルチドライブまたはDVD-ROMドライブ(以降、光学ドライブ)に、「アプリケーション/マニュアルディスク」をセットする
- 2 <Windows 7の場合>
「スタート」ボタン→「コンピューター」をクリック
<Windows Vistaの場合>
「スタート」ボタン→「コンピュータ」をクリック
<Windows XPの場合>
「スタート」ボタン→「マイ コンピュータ」をクリック
- 3 光学ドライブのアイコンをダブルクリック
- 4 「_manual」フォルダをダブルクリック
- 5 「Mate」フォルダをダブルクリック
- 6 <Windows 7の場合>
「mate_w7_manual」をダブルクリック
<Windows Vistaの場合>
「mate_wv_manual」をダブルクリック
<Windows XPの場合>
「mate_wxp_manual」をダブルクリック

『活用ガイド』が表示されます。

- メモ**
- 必要に応じて「_manual」フォルダをハードディスク(またはSSD)にコピーしてご利用ください。ネットワークを経由してはご覧になれません。
 - Windowsが起動しなくなったなどのトラブルが発生した場合は、『活用ガイド』をご覧になれません。必要に応じて「トラブル解決Q&A」を印刷しておくとう便利です。

[5] 添付マニュアルの紹介は以上です。

6 お客様登録

お客様登録はインターネットへの接続が必要です。

本製品のお客様登録はInternet Explorerの「お気に入り」メニューにある「NEC ビジネスPC(お客様登録)」からインターネットによる登録を行ってください(登録料、会費は無料です)。

- メモ** Mate Jをお使いの場合は、デスクトップにある「NEC ビジネスPC(お客様登録)」からでも、登録することができます。

[6] お客様登録は以上です。

7 付録

仕様一覧

仕様についての詳細は、下記のURLよりお使いの機種での「仕様一覧」をご覧ください。
<http://121ware.com/e-manual/m/nx/ac/201105/bios/v1/mst/index.html>

タイプME

型名	MK28H/E-C MJ28H/E-C	MK27M/E-C MJ27M/E-C	MK25M/E-C MJ25M/E-C	MK33L/E-C MJ33L/E-C	MK31L/E-C MJ31L/E-C
CPU	インテル® Core™ i7-2600S プロ セッサ*8*10	インテル® Core™ i5-2500S プロ セッサ*8	インテル® Core™ i5-2400S プロ セッサ*8	インテル® Core™ i3-2120 プロ セッサ*8*10	インテル® Core™ i3-2100 プロ セッサ*8*10
最大メモリ(メインメモリ)	8GB [DIMMスロット×2] *28				
電源	AC100V±10%、50/60Hz(入力波形は正弦波のみをサポート)				
消費電力*13 (最大構成時*22)	Windows® 7 Professional 32ビット	最大約142W	最大約139W	最大約135W	最大約131W
	Windows® 7 Professional 64ビット	最大約145W	最大約142W	最大約139W	最大約134W
外形寸法(本体)	88(W)×327(D)×345(H)mm(スタビライザ含まず)、218(W)×327(D)×345(H)mm(スタビライザ含む)*16				
質量(本体)*15	約7.3kg				

注釈については、p.31をご覧ください。

タイプMB

型名	MK25M/B-C MJ25M/B-C	MK31L/B-C MJ31L/B-C
CPU	インテル® Core™ i5-2400S プロセッサ*8	インテル® Core™ i3-2100 プロセッサ*8*10
最大メモリ(メインメモリ)	8GB [DIMMスロット×4] *28	
電源	AC100V±10%、50/60Hz(入力波形は正弦波のみをサポート)	
消費電力*13 (最大構成時*22)	Windows® 7 Professional 32ビット	最大約199W
		最大約191W
外形寸法(本体)	98(W)×385(D)×343(H)mm(スタビライザ含まず)、220(W)×385(D)×343(H)mm(スタビライザ含む)*16	
質量(本体)*15	約8.5kg	

注釈については、p.31をご覧ください。

タイプML

型名	MK25M/L-C MJ25M/L-C	MK31L/L-C MJ31L/L-C
CPU	インテル® Core™ i5-2400S プロセッサ*8	インテル® Core™ i3-2100 プロセッサ*8*10
最大メモリ(メインメモリ)	4GB [DIMMスロット×4] *28	
電源	AC100V±10%、50/60Hz(入力波形は正弦波のみをサポート)	
消費電力*13 (最大構成時*22)	Windows® 7 Professional 32ビット	最大約207W
		最大約199W
外形寸法(本体)	98(W)×385(D)×343(H)mm(スタビライザ含まず)、220(W)×385(D)×343(H)mm(スタビライザ含む)*16	
質量(本体)*15	約8.7kg	

注釈については、p.31をご覧ください。

タイプMA

型名	MK29A/A-C MJ29A/A-C	MK32R/A-C MJ32R/A-C	MK26E/A-C MJ26E/A-C
CPU	インテル® Core™2 Duo プロセッサ E7500*8	インテル® Pentium® プロセッサ E5800*8	インテル® Celeron® プロセッサ E3400*8
最大メモリ(メインメモリ)	8GB [DIMMスロット×4]*28		
電源	AC100V±10%、50/60Hz(入力波形は正弦波のみをサポート)		
消費電力*13 (最大構成時*22)	Windows® 7 Professional 32ビット	最大約183W	最大約185W
外形寸法(本体)	98(W)×385(D)×343(H)mm(スタビライザ含まず)、220(W)×385(D)×343(H)mm(スタビライザ含む)*16		
質量(本体)*15	約8.8kg		

注釈については、下記をご覧ください。

タイプMR

型名	MK26E/R-C MJ26E/R-C
CPU	インテル® Celeron® プロセッサ E3400*8
最大メモリ(メインメモリ)	4GB [DIMMスロット×2]*28
電源	AC100V±10%、50/60Hz(入力波形は正弦波のみをサポート)
消費電力*13 (最大構成時*22)	Windows® 7 Professional 32ビット
外形寸法(本体)	98(W)×385(D)×343(H)mm(スタビライザ含まず)、220(W)×385(D)×343(H)mm(スタビライザ含む)*16
質量(本体)*15	約8.7kg

注釈については、下記をご覧ください。

注釈

- * 8 : 拡張版 Intel SpeedStep® テクノロジーを搭載しています。
- * 10 : ハイパー・スレッディング・テクノロジーに対応します。
- * 13 : メモリ1GB(Windows 7 Professional 64ビット版は2GB)、HDD 250GB(増設HDDなし)、DVDスーパーマルチドライブ、FDDなし、PS/2 109キーボード、USB光センサーマウス、PCI Expressグラフィックアクセラレータなし、タイプME、タイプMBはパラレルポートありの構成で測定しています。
- * 15 : メモリ1GB(1,024MB×1)、HDD 500GB、DVDスーパーマルチドライブ、FDDなし、PCI Expressグラフィックアクセラレータなし、タイプME、タイプMBはパラレルポートなしの構成での質量です(キーボード、マウスの質量は含みません)。
- * 16 : 縦置き時の足以外の突起物は含みません。
- * 22 : 最大構成時の値は、セクションメニューで選択可能な最大構成(ディスプレイを除く)に加え、拡張ポートおよび拡張スロットをすべて占有した状態で算出した値です。
- * 28 : 最大8GB(タイプML、タイプMRでは最大4GB)のメモリを搭載可能ですが、PCIデバイス等のメモリ領域を確保するために、すべての領域を使用することはできません。32ビット版OSではメモリ4GB以上搭載時でもOSが使用可能な領域は約3GBとなります。なお、装置構成によってご利用可能なメモリ容量は異なります。

「付録」は以上です。

ご注意

- (1) 本マニュアルの内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本マニュアルの内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本マニュアルの内容については万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたら、ご購入元、またはNEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
- (4) 当社では、本製品の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3) 項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- (5) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7) 本製品の内蔵ハードディスク（またはSSD）にインストールされているOSおよび本製品に添付のDVD-ROM、CD-ROMは、本製品のみでご使用ください。
- (8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
- (9) ハードウェアの保守情報をセーブしています。
- (10) 本マニュアルに記載されている内容は、製作時点のもので、お問い合わせ先の窓口、住所、電話番号、ホームページの内容やアドレスなどが変更されている場合があります。あらかじめご了承ください。

Microsoft、Windows、Windows VistaおよびInternet Explorerは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。

インテル、Intel、Celeron、インテル CoreおよびPentiumはアメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。

Corel、WinDVDはCorel Corporationおよびその関連会社の商標または登録商標です。

©2011 Corel Corporation. All Rights Reserved.

Roxio Creator、およびBackOnTrackは、米国Sonic Solutions社の商標または登録商標です。

「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

PS/2は、IBM社が所有している商標です。

NVIDIA、GeForceは、NVIDIA Corporationの商標または登録商標です。

Standby Rescue Multiは、株式会社 ネットジャパンの商標です。

SecureRedirectorはNECパーソナルプロダクツ株式会社の登録商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。

はじめにお読みください

タイプME

タイプMB タイプML

タイプMA タイプMR

(Windows® 7 Professional 64ビット版インストールモデル)

(Windows® 7 Professional 32ビット版インストールモデル)

初版 2011年5月

©NEC Corporation, NEC Personal Products, Ltd. 2011

日本電気株式会社、NECパーソナルプロダクツ株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

853-810602-397-A

Printed in Japan

本マニュアルは再生紙を使用しています。



* 8 1 0 6 0 2 3 9 7 A *